



めむろ議会だより

Memuro Town Assembly information



町政のそこが聞きたい 一般質問

一般質問は、議員個人が町の事務の執行状況や将来に対する考え方などを町長などに求め、町が住民のための適切な町政運営を進めているかをチェックするものです。年4回開催される定例会議(6月、9月、12月、3月)で一般質問することができます。

12月定例会議の一般質問には、7人の議員が登壇しました。紙面の都合により、内容を要約してお知らせします。

物価高騰における町内消費喚起及び地域内経済循環について

- 1 物価高騰での町民の暮らしの状況は？
- 2 町内消費喚起事業の実績、検証、分析は？



木村 淳彦 議員

- 1 食料品を中心とした物価上昇に対して、賃金や所得の上昇が追いついていない状況は、町内世帯や事業所にも当てはまり、消費行動の停滞感は払拭されておらず、町民の日常生活や事業者の経営環境は依然として厳しい実態である。
- 2 Mカードを活用した町内消費喚起事業を中心に継続実施し、商工会や観光物産協会等各種団体と連携しながら地域内経済循環を図る。



手島 町長

地域内経済循環、町内商工業、特に商店街活性化・振興において消費喚起は重要な政策であります。現状は物価高騰など消費生活者にとって厳しいものがあり、年末年始を迎え、財布の紐も緩まぬ状況にあります。町も多種に渡って物価高騰対策を実施している中、当初よりキャッシュレスを提唱し、Mカード事業に対し、期間限定の還元策を講じています。この間消費喚起などへの影響は大きく、また同様に、プレミア商品券の発行など対策を打っています。しかし、これらは期間限定の一過性のもので、恒常的な政策、事業実施が、地域内経済循環に繋がるものと、Mカードのポイント10%以上の継続付与など、消費者、事業者、関係機関、団体と協議し、消費喚起策など見出すべきと提案しました。

一般質問を終えて
木村 淳彦

認知症施策について

- 1 「認知症基本法」に対する本町の対応は？
- 2 認知症の方への対応、支援に対する取組の課題・展望は？
- 3 認知症の方への正しい理解を深めるための施策に対する課題・展望は？



渡辺 洋一郎 議員

- 1 将来的には市町村計画の策定は必要であるが、それまでの間は第9期芽室町高齢者保健福祉計画で体系化する。
- 2 認知症発症を視野に入れた取組と認知症の方が望む生活が続けられるような個別支援が課題であり、今の住居で暮らせるよう当事者や家族に寄り添った事業を推進する。
- 3 知識の普及啓発が課題であり、早期発見と既存事業施策の推進、市町村計画策定に向けた取組を進める。



手島 町長

一般質問を終えて
渡辺 洋一郎

認知症は、誰にでも起こりうる脳の病気によるものですが、本人にとっても家族にとっても老後の大きな不安の1つとなっています。認知症になつたらすべてわからなくなるわけではありません。ご本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる地域づくり、支援体制が必要だと感じます。今回の質問では市町村計画の策定の考え方、これまでの取組などを確認しつつ、公立病院での「ものわすれ外来」の設置や、相談窓口のわかりやすさや人員配置などについて提案しました。これから町民の命と健康、安心して住み続けられる地域づくりに向けて私自身も引き続き取り組んでいきます。

芽室町の観光情報について

- 1 駅を利用して初めてこの町を訪れる人に対し、どのような手段で町の観光情報を提供しようと考えているのか？
- 2 新型コロナウイルス感染症の影響を除き、ここ数年の本町への新規観光客及びリピーター状況と傾向は？
- 3 5期総において、本町における観光客に認知させたい主な観光資源とは？



伊藤 稔 議員

- 1 観光物産協会と連携を図りながら、芽室駅に隣接する「まちの駅」への誘導、案内、手法を強化し、観光情報を提供する。
- 2 新規観光客及びリピーターの内訳はないが、現在閉業中の新嵐山スカイパークの状況と傾向を見ると、令和2年から令和4年にかけて3万人増加しており、新たな層の観光客やリピーターは比較的近郊に住んでいる方々を中心に増加している。
- 3 本町最大の観光地は新嵐山スカイパークであり、また、日高山脈襟裳国定公園が国立公園に指定される方向であり、新たな観光資源として期待している。



手島 町長

一般質問を終えて
伊藤 稔

芽室町の観光を考える時、芽室遺産、おいしい農産物、新嵐山は外せません。訪れた人が皆めむろーどにある「まちの駅」に立ち寄れるように案内出来るといいなと思います。本通りを歩いて芽室公園まで散策や途中の公園ポックルのモニユメントの物語を考えたり喫茶店で休憩したりすると芽室の魅力が見つかるかも知れませんが、健脚なら自転車ですらと歴史館や開拓記念碑を巡ってみるなど地元の方もゆつくり訪れたことがない方もおられるのではないのでしょうか。まちの駅を起点に人流ができるなら、街なか活性化へと続くと思えます。町内の神社やお寺、祠などを巡る事も面白いかもしれません。たくさんの方が芽室の名所特産品やお店で人に触れてこの町を好きになってくれると嬉しいですね。

農業経営基盤支援と担い手の育成・確保対策に係る今後の展望について

- 1 変化する国際情勢に対応したブランド力強化や高収益作物の導入による経営体質強化の成果と展望は？
- 2 多様な担い手の育成と確保対策における検討経過及び今後の対応は？



菊池秀明 議員



手島 町長

- 1 十勝めむろブランド確立に向けた施設整備や販路拡大、また、自発的に生産・加工・販売・流通などを行う農業者団体などに対して、新たな作物への取組の相談対応など側面的支援を行っており、今後は今まで以上に土づくり、病害虫の予防など関係機関と連携し、安定的な農業経営に向けた支援を行う。
- 2 令和4年9月に人材確保・育成対策等を総合的に取り組むための相談窓口や受け入れ体制を構築し、今後は生産現場の声も取り入れながら実効性のある対策を実施する。

一般質問を終えて
菊池 秀明

今回の一般質問では、「芽室町農業振興計画」に基づき農業生産性の向上と経営基盤支援の現状と今後の展望について確認を行いました。その中でも主に、ブランド力強化や高収益作物導入に関して、新規就農者支援として農外からの後継者確保に関して、この2点について質問を行いました。本町に於ける「十勝めむろブランド」における現在までの成果は目覚ましいものであると確認することができましたが、6次産業化における取組は現在進行形で今後成果を期待するところだと感じました。後者に関しては、新規参入よりも農業関係者をメインに担い手を確保していく姿勢であるのとみて取れる結果でしたが、将来発生するかもしれない遊休農地や担い手不足への対応として多様な担い手の創出が必要であること、国の調査データも踏まえ質問させていただきました。今後は本町における農業への取組に関して注視していきたいと思っております。

芽室町農業振興計画の進捗状況について

- 1 土づくり支援策における新たな課題と解決策は？
- 2 農地・土地改良施設等の整備の進捗と具体的事業の在り方は？



早苗 豊 議員



手島 町長

- 1 地力向上対策を踏まえた適正輪作体系の維持が課題であり、てん菜の作付面積減少に対する作付奨励事業を継続して実施していく。
- 2 明渠・暗渠などの排水対策、かんがい事業への取組、農道・農業用水路の整備、基幹水利施設の維持管理などを計画的に進めてきたところであり、また、多面的機能支払交付金制度を活用した活動は、農村環境や資源、農業生産基盤の維持管理に有効な活動と捉えており、今後も直接的、間接的な事業を総合的に組み合わせながら積極的に支援する。

一般質問を終えて
早苗 豊

芽室町の農業振興計画は令和3年に初めて体系的に整えられました。その中でも農業基盤の整備は継続的に進めることが必要であり、その進捗状況は随時確認していかなければなりません。今回の質問では堆肥センターの運営事業は芽室町農業の振興には欠かせない施設であることを町長と確認することが出来ました。循環型農業をこれまで以上に推進して行くには原料調達から製品の圃場散布までをシステムとして事業展開できるよう町として支援することが大事です。また農業DXを推進する上では農地の基礎的な情報の蓄積と公開は必須であり圃場の土壌診断等にかかる経費の公費負担には必然性があると考えます。

水道広域化の進捗状況／幼保小連携

- 1 十勝における水道広域化の協議状況は？
- 2 幼保小連携について幼児期から一貫したアプローチが必要ではないか
- 3 幼保小の円滑な連携・接続のためにも町営ひだまり保育所が果たす役割は？



正村紀美子 議員



手島 町長

- 1 具体的な取組が決定しているわけではないが、今後も検討、協議を進めていく。
- 2 目指す子ども像を共有し、具体的な取組を進めてまいる。
- 3 ひだまり保育所における保育実践をふまえた情報発信と研修等を提供していく。

一般質問を終えて
正村紀美子

水道法改正により水道事業の広域化、民営化が可能となりました。令和5年3月に北海道が「北海道水道広域連携プラン」を策定したことから本町における水道広域化の検討状況を質問しました。広域化は課題が多くあり、具体的な取組は今後になります。安全安心な水を提供するため複数水源と経費削減に努め、今後も健全経営を維持して頂きたい。コロナ禍やデジタル化の進展は、保育や教育の考え方を一変させました。子どもの特性に応じた手法が確立され、集団から個への流れはますます強まっていくでしょう。社会変化のスピードに取り残されることなく、子どもにかかわる関係機関が共有することが大事だと考えています。

地域公共交通事業の今後の展開について

- 1 将来の移動困難者に対する公共交通手段は？
- 2 DX、GX、ライドシェアなど新たな観点の下での地域公共交通の再構築に向けた取組は？



立川美穂 議員



手島 町長

- 1 協働による持続可能な公共交通を目指して、町民ニーズを的確に把握しながら、町の財政状況にも配慮し、公共交通手段を確保する。
- 2 時代に即応した研究も重要と考えているが、官民協働の視点を持ち、芽室町に合った地域公共の在り方を引き続き検討する。

一般質問を終えて
立川 美穂

地域公共交通による住民の移動手段の確保は、高齢になっても地域で暮らしていくことへの不安解消と、暮らしやすく魅力ある地域や、地域間の人の流れを創出するためには必要不可欠な生活基盤です。近い将来高齢ドライバーの皆さんが免許証返納後どのような移動手段が必要となるのか、ドライバー不足など、公共交通を取り巻く環境が厳しさを増すなか、芽室町に必要な公共交通のあり方について町長の考えを質しました。公共交通のあり方について検討がはじまって以来、デジタルの活用や脱炭素への取組、さらには、国も検討を始めたライドシェアの可能性など、社会の変化に見合った仕組みづくりが必要であること、課題について共通認識を持つことができました。

新嵐山スカイパーク

経営改革調査特別委員会

1/15
第10回
特別
委員会

2月委員派遣決まる

第10回特別委員会では、委員派遣の基本的な考え方について、共通認識を図り、町が新たな新嵐山スカイパークのあり方やランドデザインを策定するにあたり、議会として現地視察を通じて調査・研究を深めることを目的とすることや視察時期・視察先についても決定しました。

視察時期は2月とし、視察先については、道外・道内(管内を含む)計8か所を選定し、今後派遣委員の割り振りを整理し、特別委員会正副委員長と調整・協議の上、各視察の派遣委員を決定することとしました。

今後は視察を通じ、再生へ向けた新たな施設運営の展望を調査し、当該事業の方向性を検討・研究します。

※視察内容については、議会日より3月号に掲載予定です。

1/31
第11回
特別
委員会

視察に向けた事前審査活発に

第9回特別委員会(12月7日開催)での、「令和5年度及び令和6年度の運営」と「経営方針変更の手順とスケジュール」について、引き続き調査を行い、2月の視察に向けて、約2時間にわたる活発な質疑となりました。

令和6年度の運営について、町からは、今夏に公園機能の一部を開放する方針が示され、議会からは、「児童生徒の冬季以外の野外学習を可能にしたい」「パークゴルフ場やドッグランの利用は想定しているのか」等の質疑を行い、町からは、「できるだけ早期に一部開放の区域を示し情報提供させていただくが、現時点では全てを開放するのは難しいと考えている」との答弁がありました。

また、スキー場の早期再開を目指し、リフトの点検委託に関する経費やランドデザイン策定委託料を令和6年度当初予算で提案する方針が示され、議会からは、「ランドデザインを描く段階で十勝のスキー場として今後も考えていくのか」等の質疑を行い、町からは、「未来ミーツイング等でさまざまな意見をいただいております。いただいた意見を基本にランドデザインの方針を定めていく」との答弁がありました。

今後は特別委員会でも出されたさまざまな意見を念頭に視察を行い、3月上旬に町から示される「新嵐山スカイパークのあり方の骨格」をより良いものとすべく調査を行います。

厚生文教常任委員会

第14回 1月18日(木)
調査内容

第3期芽室町国民健康保険データヘルス計画の方針について他2件

計画策定根拠、進捗状況、R5年度スケジュール、計画の概要について、質疑からは、重症化予防が主たる事項であり健診後の対応を強化する旨の説明がありました。

どんぐり会との意見交換会
R6年1月17日(水)

「障がいを持たれる方の生きづらさについて」をテーマに、多くの貴重な意見を頂きました。委員会としてさらなる調査を進めてまいります。



どんぐり会との意見交換会

1月
臨時会議

原案のとおり
可決

1月31日に開催した臨時会議では、陳情の取下げ許可決定のほか、行政報告2件、条例改正及び補正予算の町長提案の議案2件を原案のとおり可決して閉会しました。

1月
補正予算

物価高騰対策を含む
補正予算案を可決

●一般会計補正予算(歳出)

項目	金額	主な使いみち
議会費	100万8千円	特別委員会費用弁償
総務費	1億928万2千円	物価高騰対策 社会福祉事業
教育費	100万1千円	電子図書使用料
予備費	234万1千円	
合計	1億1,363万2千円	

議会白書

議会白書とは、町民の皆さんに議会の活動を公表し、情報を共有することにより、議会活動の活性化を図っています。

会議名	日時 会議時間	休憩 時間	実質 時間	議件	傍聴 人数	ネット 中継 アクセス数
本会議	1月31日 9:30~10:01	0:14	0:17	1. 芽室町手数料徴収条例中一部改正の件 2. 令和5年度芽室町一般会計補正予算(第11号) 他	2	(156)
全員協議会	第9回 1月15日 11:30~14:34	2:17	0:47	1. 第2回モニター会議の総括案について 2. 白樺高校との包括連携協定事業(3学年)総括案について 他	1	(22)
	第10回 1月31日 13:30~14:28	0:03	0:55	1. 芽室高校との意見交換会の総括について 2. 白樺高校(1学年)との包括連携協定事業(案)について	1	(156)
常任委員会 総務経済 厚生文教	第14回 1月16日 9:30~11:57	0:15	2:12	1. 芽室町緑の基本計画の見直しについて 2. 地球温暖化防止実行計画(区域施策編)策定について 他	3	61
	第14回 1月18日 9:30~11:06	0:12	1:24	1. 第3期芽室町国民健康保険データヘルス計画の方針について 2. 第9期芽室町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定について 他	1	32
議会運営委員会	第22回 1月15日 11:00~11:05	0:00	0:05	1. 議会費補正予算案(1月臨時会議)について 2. 議員研修(帯広市開催)について	2	(22)
	第23回 1月24日 13:30~14:05	0:01	0:34	1. 令和5年度芽室町議会定例会1月臨時会議の運営について 2. 議会日より2月号の編集について 他	1	9
編集企画会議	第10回 1月29日 16:50~17:00	0:00	0:10	1. 議会日より2月号の校正について 2. 議会日より3月号の編集企画について		※
予算決算特別委員会	第12回 1月31日 9:47~9:57	0:00	0:10	・令和5年度一般会計補正予算の審査について	2	(156)
新嵐山スカイパーク経営改革調査特別委員会	第10回 1月15日 9:30~10:44	0:01	1:13	1. 委員派遣の基本的考え方(案)について 2. 委員派遣(視察計画)(案)について	2	(22)
	第11回 1月31日 10:15~12:31	0:18	1:58	1. 新嵐山スカイパークの今後について	2	(156)
小計	13:06	3:21	9:45		計17	平均79.2
どんぐり会と厚生文教常任委員会の意見交換会	1月17日 18:30~20:00	0:00	1:30	意見交換テーマ「障がいを持たれる方の生きづらさについて」		※
議会議員研修(帯広市議会主催)	1月29日 14:00~16:00	0:00	2:00	演題「議員活動におけるハラスメントへの対応」 講師 札幌大学、札幌学院大学非常勤講師 吉田博氏		※
小計	3:30	0:00	3:30			
合計	16:36	3:21	13:15		計17	平均79.2

ネット中継アクセス数 () 同一日に複数の会議が中継された場合は各会議の合計アクセス数を表示 ※インターネット中継を実施しなかった会議

総務経済常任委員会

第15回 1月16日(火)
調査内容

●芽室町緑の基本計画の見直しについて
概要版等資料の説明を受け、調査を行いました。質疑に対しては担当課長から「町内に約50ヶ所の公園が存在するが、各公園の周辺環境は居住形態が年々変化することから、その変化に応じて公園が適正に機能するように、地域住民の声や状況を反映して再整備の検討をしていきたい。」と答弁がありました。

●地球温暖化防止実行計画(区域施策編)策定について
資料の説明を受け、調査を行いました。質疑に対しては担当課長から「芽室町の環境の特徴を活かし、これまでの経過を尊重しながら区域施策編を策定し新たな町の考え方として明確にしていきたい。」と答弁がありました。

●芽室町観光ビジョン(案)について
資料に基づき、言葉の定義の共有、策定の目的・位置づけ、進捗状況の説明を受け調査を行いました。質疑に対しては担当課長補佐から「シミュブルで分かりやすい資料となるよう検討したい。」と答弁がありました。

●選挙事務執行改善計画について
資料の説明を受け、調査を行いました。質疑に対しては事務局長から「環境改善については継続して取り組む事項として委員会内で共有を図った。」と答弁がありました。

1月の委員会活動報告 (委員が執筆しています!)

資料に基づき、言葉の定義の共有、策定の目的・位置づけ、進捗状況の説明を受け調査を行いました。質疑に対しては担当課長補佐から「シミュブルで分かりやすい資料となるよう検討したい。」と答弁がありました。

●選挙事務執行改善計画について
資料の説明を受け、調査を行いました。質疑に対しては事務局長から「環境改善については継続して取り組む事項として委員会内で共有を図った。」と答弁がありました。

議会モニターを募集します！

～『議会』に参加しませんか！～

議会モニターは、気軽に議会に参加することのできる「チャンネル」です。
皆さんの声や思いを、議会・議員とキャッチボールする「チャンネル」です。
多数のご応募をお待ちしております！

- ★資格要件 芽室町民であること。ただし、町外から芽室町内に在学・勤務している方も可。
議会のしくみや町の行政などに関心がある方。
- ★任 期 令和6年4月1日～令和7年3月31日
- ★報 酬 会議に出席した際に3,300円を支給します。
(居住場所によっては、別途交通費相当を支給します。)
- ★主な役割 モニターと議員との意見交換への出席(年2回程度)や
議会やまちづくりに対する意見の提出
議会が依頼するアンケート等への回答
- ★募集人数 20名
- ★応募期限 令和6年2月29日(木)
- ★応募方法 議会事務局にご連絡をお願いします。
(電話は月～金の9時～17時。正午から13時を除く。
メールは住所・氏名・電話番号・件名欄に「モニター
希望」と記載。)
電話:0155-62-9731 FAX:0155-62-9813
e-mail: g-shomu@memuro.net



表紙写真
町内幼稚園の雪遊びの様子を提供していただきました。
「子ども達にとつて雪が降ることは宝物が降ってくるのと同じくらいワクワクする出来事です。降りたての雪はふわふわでキラキラで創作意欲がどんどん沸いていきます。一人で大きな雪玉を作った後は、みんなで力を合わせて雪だるまを完成させました。冬だからできる発見や遊びを友だちと一緒に楽しんでいきます。」

3月定例会議のご案内

4日	9:30～	初 日
18日	9:30～	一般質問
19日	9:30～	一般質問
22日	9:30～	最終日

議会傍聴で芽室の未来が見える！
インターネット中継はコチラから視聴できます。(過去の録画もあります)
団体や多数で傍聴を希望される方は、資料準備のため事前に議会事務局までご連絡ください。(0155-62-9731)

■芽室町に移住して20年。この時期になると「十勝の冬のビックイベント」氷灯夜が楽しみです。
昭和63年に350個のアイス・キャンデルから始まったと聞いています。厳寒の朝に1個1個ハケツをひっくり返しキャンデルを作っている実行委員会の皆様のご努力には頭が下がります。自主独立の街を選択し、力強く歩んでいる芽室の街に微力ながら努力をしていこうと再確認をさせるイベントです。



小笠原 等

■年明け早々の能登半島地震。災害対策の重要性を再確認するともに、災害は地球規模と捉え、その対策を広い視点で学ぶべきと痛感します。今日11日は「建国記念の日」。住民の皆さんが悲しい思いをせずに暮らせるような「国」であることを願いながら、春の到来を待つところです。



伊藤 稔

■1月1日能登半島地震。2日には航空機の衝突事故と、大変な年明けとなりました。お亡くなりになられた方々へのお悔やみと、被災された方々へのお見舞いを申し上げます。1月17日どんぐり会さんとの意見交換会があり、災害時の障がい者の避難に対する不安がだされました。本町の災害時の避難等に対する見直しが必要と感じました。



堀切 忠

